

5 地域連携

現状と課題

■拠点病院等・支援病院の病病連携・病診連携について

拠点病院等・支援病院は、多職種連携カンファレンスの主催や地域内の他施設が主催したカンファレンスへの参加により、緩和ケアに関する地域連携を推進しています。

また、拠点病院等・支援病院は、患者やその家族に対し地域の緩和ケア提供体制について情報提供できるよう、当該医療圏内の診療所等と連携し、在宅緩和ケアが提供できる診療所等を把握しています。引き続き、拠点病院等・支援病院が地域の診療所等と連携していくことが必要です。

■がん患者の口腔ケアについて

がん患者の口腔ケアは、QOL（生活の質）の維持向上のために重要な支持療法です。

県では、拠点病院等・支援病院と地域の歯科医師とのがん患者の口腔管理に関する連絡会を実施し、医科歯科連携の体制強化を図っています。また、県内の歯科医師や歯科医療従事者を対象にスキルアップ研修会を実施しています。引き続き、医科歯科連携の体制強化を図るとともに、がん患者の口腔ケアの重要性について県民への周知を強化することが必要です。

■在宅緩和ケア提供体制について

拠点病院等・支援病院では、緩和ケア外来を設置し、他の医療機関を受診しているがん患者の受け入れも行っていきます。現況報告によると、地域の医療機関から緩和ケア外来への年間新規紹介患者数は増加傾向にあるものの、依然として件数は少ない状況です。がん患者が必要時に緩和ケア外来で専門的な緩和ケアが受けられるよう、拠点病院等・支援病院と地域の医療機関の連携体制の整備が必要です。また、県内でがん診療を行う在宅医は少ない状況であるため、引き続き、地域で在宅緩和ケアを提供できる人材の育成が必要です。

■在宅療養生活に関する情報提供について

県では「がんネットなら」「療養ガイド」等において、在宅療養生活に関する情報提供を行っています。しかし、令和3（2021）年度ならのがんに関する患者意識調査によると、自宅での療養生活についての情報が不十分であると思う患者の割合は36.3%であり、更なる情報の充実が必要です。

分野別目標

現状と課題を踏まえ、地域連携の分野別目標を以下の通り設定しました。

【分野別目標】

分野別目標	指標	現状値 (基準値)	目標値
がん患者が居住する地域にかかわらず、質の高い医療を受け、望む場所で療養生活を送ることができる	自分の望む場所で療養生活を送ることが可能であると思う患者の割合	R7に 把握予定	増加

中間目標と個別施策

分野別目標を達成するために必要となる 3 つの中間目標を設定し、それぞれの中間目標を達成するために必要な個別施策を設定しました。

【中間目標 1】

中間目標	指標	現状値 (基準値)	目標値
拠点病院等・支援病院とかかりつけ医の連携体制が整備されている	病院から診療所・在宅医療（看護も含む）へ移った際、病院での情報（診療方針）が診療所・訪問看護ステーションに円滑に伝わったと思う患者の割合	22.7	増加
	周術期等口腔機能管理料（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）の算定件数	9,910	増加

【個別施策（拠点病院等・支援病院の地域連携体制の充実）】

①拠点病院等・支援病院の病病連携・病診連携の促進

拠点病院等・支援病院は、地域医療を支える多施設かつ多職種の連携強化を目的とした多職種カンファレンスを引き続き実施します。また、在宅緩和ケアが提供できる診療所等のマップやリストを作成し、患者やその家族に対し常に地域の緩和ケア提供体制について情報提供できるよう、医療圏内の診療所に対し、がん診療等に関するアンケート調査を実施します。

【主な取組】

- ・地域の多職種カンファレンスの実施
- ・地域連携会議の実施
- ・医療圏内の診療所に対し、がん診療等に関するアンケート調査を実施

②がん患者の口腔ケアの医科歯科連携の充実

歯科医療従事者の質の向上や医科歯科連携の促進を図るため、拠点病院等・支援病院と地域の歯科医師会とのがん患者の口腔管理に関する連絡会、連絡会の結果を踏まえたスキルアップ研修会を引き続き実施します。また、適切な時期に口腔ケアをすることで、がん治療による副作用を軽減できるなど周術期の口腔機能管理の重要性について、県民への周知を強化していきます。

【主な取組】

- ・登録歯科医にかかる課題把握
- ・登録歯科医のスキルアップ研修会の実施
- ・医科歯科連携を促進するための研修会の実施
- ・県民への周知強化

【中間目標 2】

中間目標	指標	現状値 (基準値)	目標値
在宅緩和ケア提供体制が整備されている	拠点病院等・支援病院における地域の医療機関から緩和ケア外来への年間新規紹介患者数	53	増加
	拠点病院等・支援病院における地域の医療機関から緩和ケア外来への年間受診患者のべ数	197	増加

【個別施策（在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実）】

①在宅医療機能の把握・公表

拠点病院等は診療所等の在宅医療機能を把握し、その情報を取りまとめて公表します。また、県は「がんネットなら」等を通じて、在宅医療について分かりやすく情報提供します。

【主な取組】

- ・拠点病院等による在宅緩和ケアに対応できる診療所等の在宅医療機能の把握・公表
- ・県内の病院等の在宅医療体制の把握

②在宅緩和ケアに携わる人材の育成

診療所の医師等を対象とした在宅緩和ケア研修会や、拠点病院等によるがん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会を継続し、地域で在宅緩和ケアを提供できる人材を育成します。

【主な取組】

- ・診療所の医師等を対象とした在宅緩和ケア研修会の実施
- ・がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会の実施

【中間目標 3】

中間目標	指標	現状値 (基準値)	目標値
がん患者やその家族が地域連携や在宅医療について必要な情報提供を受けている	自宅での療養生活についての情報が不十分であると思う患者の割合	36.3	減少
	「がんネットなら」について知っている患者の割合	9.1	増加
	「がんネットなら」のページビュー数	81,112	増加

【個別施策（在宅療養生活に関する情報提供）】

①在宅療養生活に役立つ情報の充実

在宅療養生活に役立つ情報を、「がんネットなら」「療養ガイド」等を通じて、分かりやすく提供します。

【主な取組】

- ・「がんネットなら」「療養ガイド」等の内容の充実